



**日本共産党区議会議員**  
**こんにちは伊藤和彦です**

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
 足立区役所 電話3880-5111（内線4650～4654）  
 日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>



11月2～3日の両日、産業展示会「あだちメッセ2012」が東京電機大学「千住アネックス」（千住旭町）で開催されました。足立区には技術力が高く、優秀な中小企業がたくさんあります。新産業や新市場の創出に挑戦する企業も次々と誕生しています。「世界に誇る足立の技術を見に行こう」をテーマに集まった企業が、自慢の

## 中小企業支援のため提案

### 23年第4回定例会 代表質問

日本共産党は、区内産業支援のために「産業展示会」を繰り返し要望してきましたが、天空劇場で10月に行った「足立メッセ」産業展示会は、作り手が文字通り主役になり、好評でした。しかし、展示するブースが狭く、改善を求める声も寄せられました。区内の製品開発や若い世代への展示提供の場、業者支援と交流を更に発展させ継続すべきと思うがどうか。

答弁  
 産業経済部長

産業経済分野においては、区内企業の連携により製品化し販売された事例として、「簡易式パッド印刷機」、「千寿葱ピクルス」などがあります。今後も、企業の交流がより活発となるよう、産業展示会などを開催することにより、製品開発、技術交流が進むよう支援を行ってまいります。産業展示会「あだちメッセ」については、今年度の実績を踏まえ、来年度はより広い会場での開催を検討していきます。また、産学公連携促進事業や創業支援事業など区の産業支援策から生まれた新製品を発表する場として、若い世代も含め幅広く事業者を募集していくとともに、区内産業界の発展的な交流を図ってまいります。

## 産業展示会「あだちメッセ2012」開催 日本共産党の提案が実現

商品や技術、サービスを披露しました。昨年、76の出展者によって初めて開催されたこの展示会、2回目となる今年は、昨年の倍以上となる約170社が出展。きっかけは昨年、日本共産党の伊藤和彦・代表質問（左記記事）でした。「製造業」をはじめ、「情報通信」「食品・農業関係」「足立の元



気企業「産学連携」「支援・金融・後援者等」のブースに分かれて、新製品やユニークな製品、高度な技術、革新的な技術を各企業がアピールしました。

企業間交流／商談へ  
 仕事確保に効果  
 展示ブースの前では名刺交換し、商談「トオ」に移動して協議するマッシュキングが56に及びました。

ビジネス向けに開催した「日（金）の参加者は1600人、一般区民向けに開催され3日（土）には350

0人、合計5100人が参加し盛況のうちに終了しました。卓越した技術と魅力あるものづくりを全国に発信している足立ブランド認定企業も34社になりました。

私も3日、「あだちメッセ2012」に参加し、いくつかのブースを訪ね、関係者の説明を聞きました。若い世代の事業者が頑張っている姿に希望がもてました。

都知事選、総選挙のため伊藤二ユーヌは一時休止します

## 行って楽しんで買い物をするだけで支援に！ 2013年足立新春のつどい スパリゾートハワイアンズ（福島県いわき市） 2013年1月13日（日）

日本最大の天然温泉と温泉テーマパーク  
 震災後全国巡業をしたフラガールのダンス  
 帰りは「いわきら・ら・ミュウ」でお買い物  
 津波の被害を視察するオプションなど

午前7時頃区内発  
 日帰りバス旅行

**参加費**

大人	6500円
中・高校生	5000円
小学生	4000円
幼児	2500円

バス代・入場料・昼食代込



お近くからバスが出ます。福島県いわき市は、地震と津波で大きな被害を受けました。今回は復興支援として取り組みます。ぜひ1回だけでも行きませんか？温泉、ウォーターパーク、お買い物も楽しいひとときを一緒にすごしましょう。

お申込みはお近くの党員、後援会員または、伊藤和彦事務所まで



記者会見する宇都宮健児さん

### 都知事選―宇都宮氏が出馬表明 「人にやさしい東京」へ4つの柱

石原都政からの転換をめざす「人にやさしい東京をつくる会」は9日、国会内で記者会見を開き、前日本弁護士連合会会長の宇都宮健児氏（65）が29日告示の都知事選（12月16日投票）への立候補を表明しました。

宇都宮けんじ氏は、「都政で実現をめざす4つの柱」  
誰かが人らしく、自分らしく生きられるまち、東京をつくりまします。  
原発のない社会へ 東京から脱原発を進めます。  
子どもたちのための教育を再建します。

憲法のいける東京をめざします。を発表しました。  
会見で宇都宮氏は、東日本大震災と原発事故後、被災地を視察し、被災者支援の活動に携わった経験を振り返り、

また、貧困と格差が急激に拡大していることを指摘し、「人にやさしい都政」をつくりたい」と力を込めました。  
教育問題では、「日の丸・君が代」強制は思想・良心の自由に違反すると指摘。

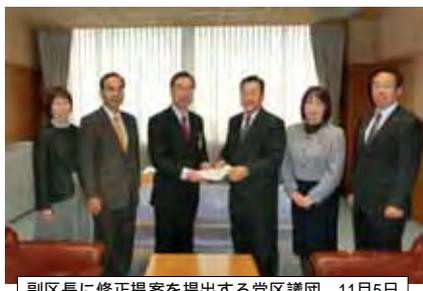


反貧困ネットワーク集会であいさつする宇都宮氏  
後ろは湯浅誠、雨宮処凛さんら

「教師が管理統制された中で自由でのびのびした教育はできない」と語りました。  
さらに、尖閣諸島問題を機に集団的自衛権の行使を声高に叫ぶ勢力が出ていることを批判し、「憲法改悪を許さず、平和で人権を守る首都をめざす」と述べました。

### 区民の願いを防災計画に活かすように区に申し入れ

### 共産党区議団が区長に提言



副区長に修正提案を提出する党区議団 11月5日

11月5日、共産党区議団は11月後半に出される「足立区

地域防災計画案 作成にあたって、見直し素案に対する修正意見を近藤やよい区長に提出しました。  
足立区地域防災計画震災対策編（24年度修正版）に対する修正意見の一部は次の通りです。

#### 防災会議に公募委員を

現在、防災会議委員62名中、50名以上が行政関係者で占められている。区の部長のうち、質問に答える委員は防災会議

#### コンサルマかせにしない

東京都の「被害想定」のデータが十分明らかにされていないため、「被害想定」の是非を住民が検証できないなどの問題がある。

#### 放射能除染対策の拡充を

想定に取り組みべきである。

事務局とし、防災計画に区民の声を反映させるため、公募委員と区議会派の代表を防災会議の正式メンバーに任命すべきである。

被害想定については、都の引き写しではなく、またコンサルマかせにせず、どこが危険でどこを改善したらいいかなど一番地域の特性を知っている足立区が主体となり被害

放射能汚染の除染測定地点を地表50cmとしているが、5cmでも速やかに除染をすること。  
また、放射能測定器の貸し出しをすること。  
全ての保育園・幼稚園・学校などの給食等食材の放射能汚染を事前測定し、公表すること。  
当面、牛乳とお米については直ちに実施すること。などを修正意見として提出しました。

第4回足立区議会定例会がはじまります  
12月6日から20日まで  
本会議は12月6日（木）午後1時  
日本共産党の代表質問は、はたの昭彦議員が午後3時頃から行います。議会の傍聴におでかけください。  
詳しくは区議団控室 3880-5770